

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会
第7回 シミュレーションの信頼性分科会 (A2SC) 議事録

1. 日時 2014年8月6日(水) 13:30~16:00
2. 場所 東京大学工学部3号館424号室
東京都文京区本郷7-3-1
3. 出席者(敬称略, 分科会委員名簿順)
 - (出席委員) 中田耕太郎(主査, 東芝), 越塚誠一(副主査, 東大), 中村均(幹事, CTC), 浅見光史(海技研), 石塚龍雄(CTC), 大島宏之(JAEA), 大貫晃(MHI), 大山一弘(MFBR), 笠原直人(東大), 甲斐芳郎(高知工大), 佐々木泰裕(関電), 佐田幸一(電中研), 鈴木喜雄(JAEA), 巽雅洋(原子力エンジ), 田中伸厚(茨城大), 中村秀夫(JAEA), 永吉拓至(日立), 古谷正裕(電中研), 上村孝史(代理: 溝上伸也, 東電), 美原義徳(鹿島), 吉田啓之(JAEA): 21名
 - (欠席委員) 相澤直人(東北大), 内藤倣孝(ナイス), 藤原大資(テプシス), 深堀智生(JAEA), 山口彰(阪大): 5名
出席委員数21名/登録26名, 充足率: 81% (>67%: 成立下限)
 - (常時参加者) 尾崎哲浩(原燃工), 加藤達也(東芝), 田中正暁(JAEA), 坪井一正(アンス), 規制庁2名
 - (欠席) 久語輝彦(JAEA), 佐方宗樹(CD-adapco), 佐藤達彦(JAEA), 吉田学(GNF-J), 規制庁1名
 - (オブザーバ) 大野修司(JAEA)
4. 配布資料
 - A2SC-7-1 議事次第
 - A2SC-7-2 (1) 前回議事録案
 - A2SC-7-2 (2) 前回議事メモ
 - A2SC-7-2 (3) 標準委員会メール投稿結果について
 - A2SC-7-3 (1) ガイドライン(2014) 本体・付属書案
 - A2SC-7-3 (2) ガイドライン(2014) 本体・付属書変更履歴

5. 議事録

(1) 委員・常時参加者の人事について

委員の解除・選任および常時参加者の所属変更及び解除について報告され承認された。

- ・委員解除: 岩崎智彦(東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 教授)
- ・委員選任: 相澤直人(東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 助教)推薦者: 岩崎智彦

- ・常時参加者所属変更：中島鐵雄 原子力安全基盤機構 → 原子力規制庁
- ・常時参加者解除：堀田亮年（原子力規制庁）

(2) 前回議事録確認

前回分科会の議事録案(A2SC-7-2(1))が承認された。主査より、前回議事録メモ(A2SC-7-2(2))を参考用に配布する旨説明された。

(3) 標準委員会及び基盤応用専門部会の状況報告

中田主査より、6月18日開催の標準委員会の状況が報告された。委員会では反対意見等はなく、メールによるコメント投稿に回された。資料A2SC-7-2(3)に示すとおり、メール投稿でのコメントはなかった。

(4) ガイドライン(2014年)更新版の説明・決議

資料A2SC-7-3(1)～(2)に基づき、ガイドラインの更新版と変更履歴が説明された。前回分科会(5/7)及び専門部会(5/20)のコメントに対して、内容を更新したもの。主な更新内容は下記のとおり。

- ・信頼性に関わる考え方を改めて解説に追記
- ・感度解析・感度評価及び限界値等に関わる説明を補完
- ・予測に対する取扱の意義を、他の標準との関わりを含めて追記 等

これらの更新内容とまえがきを含めたガイド全体について議論が行われた。コメントへの対応は、修文で対応可能な範囲と判断されたため、現ガイド案に対する採決が行われた。挙手による採決の結果、出席委員全員の賛成により、ガイド案が決議された。

(5) 今後の予定

修文したガイド案を改めて分科会メンバに配布する。次回の専門部会(8/28)にて本報告及び書面投票を予定。専門部会でのコメントに応じて、次回分科会の開催の要否、時期を幹事会にて決定し、分科会メンバに連絡する。

以上